

岡谷電機産業株式会社

2015年度（2016年3月期）

決算説明会

2016年5月26日（木）

社長就任のご挨拶



代表取締役 社長執行役員

山 田 尚 人

略 歴

1980年4月	当社入社
2004年5月	オカヤ エレクトリック シンガポール社長
2008年4月	執行役員国内営業統括部長
2012年6月	取締役執行役員営業本部長
2016年4月	代表取締役 社長執行役員（現）

目次

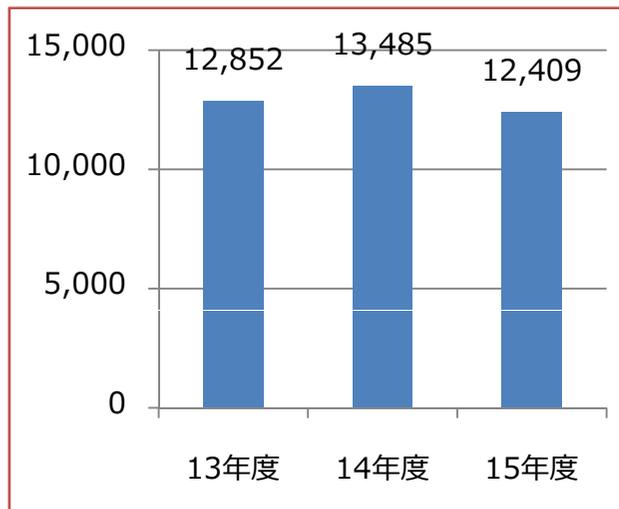
1. 2015年度 決算概要
2. 2016年度 計画値
3. 今後の経営方針

1. 2015年度 決算概要

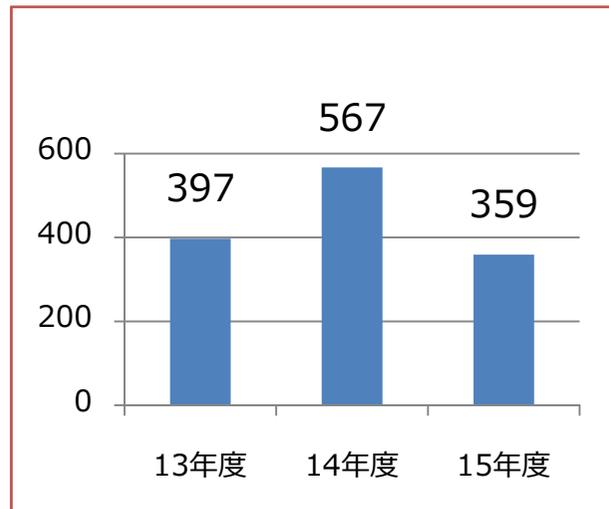
1. 決算ハイライト

売上高	124億09百万円	(前年比△8%)
営業利益	3億59百万円	(前年比△37%)
純利益※	△7億53百万円	- (訴訟関連損失12億円)

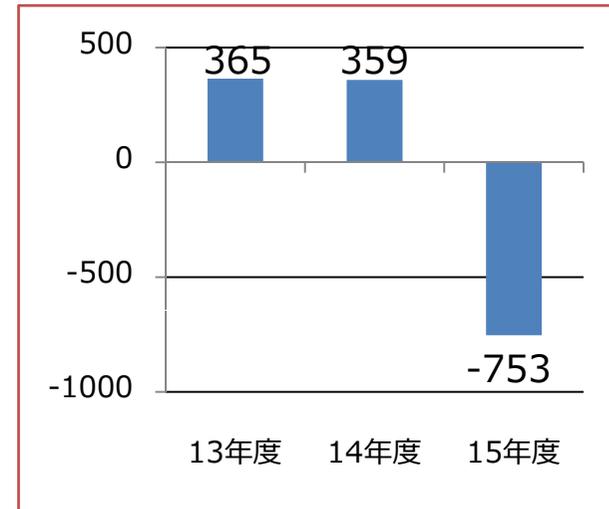
売上高
(百万円)



営業利益
(百万円)



純利益※
(百万円)



※親会社株主に帰属する純利益

2. 損益計算書

為替：1 USD = 109.18円 → 120.62円 (円安)

	2014年度	2015年度	前年比	
売上高 (百万円)	13,485	12,409	△1,076	92%
ノイズ	8,319	7,794	△525	94%
サージ	2,399	2,087	△312	87%
表示	2,039	1,872	△167	92%
センサー	726	655	△71	89%
営業利益 (利益率)	567 (4.2%)	359 (2.9%)	△208	63%
経常利益 (百万円)	701	323	△378	46%
特別損益 (百万円)	△205	△1,188	△983	—
当期純利益 (百万円)	359	△753	△1,112	—

売上高・国内 (百万円)	6,467	5,826	△641	90%
海外 (万US\$)	6,428	5,458	△970	85%
海外 (百万円)	7,018	6,583	△435	94%

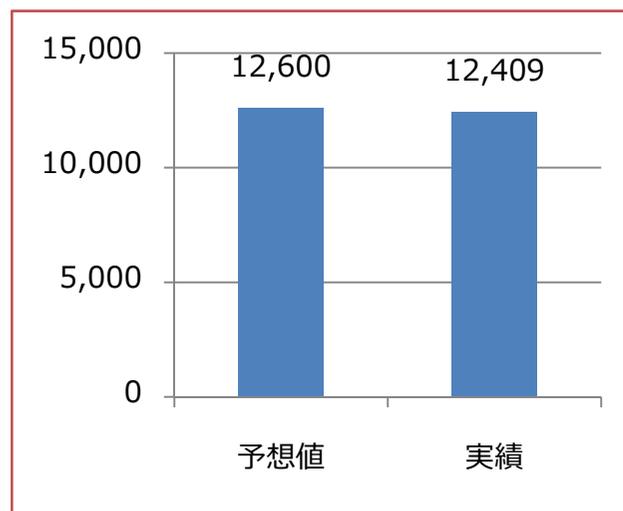
3. 業績予想との差異分析

業績予想は15年11月13日公表値

売上高	124億09百万円	△2億円：中国市場が届かず
営業利益	3億59百万円	+2億円：コスト抑制等による
純利益※	△7億53百万円	△5億円：カルテル問題対応費用増

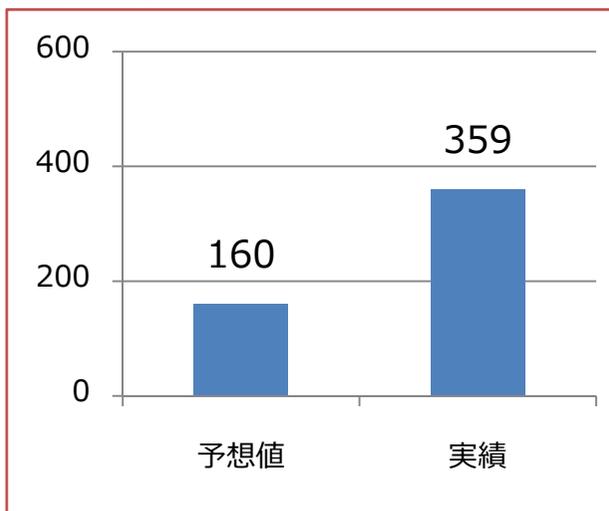
売上高

(百万円)



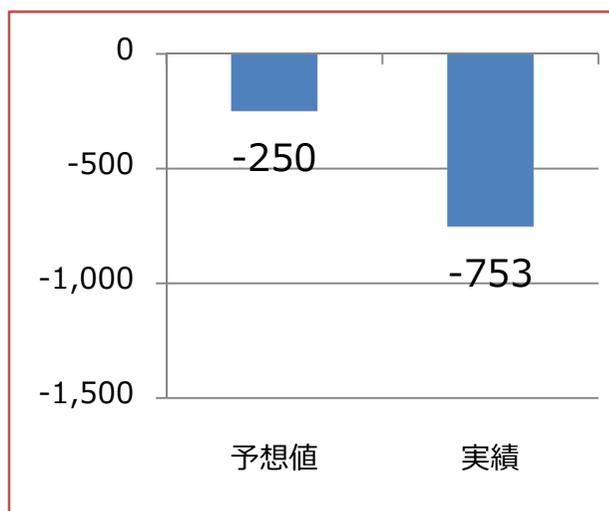
営業利益

(百万円)



純利益

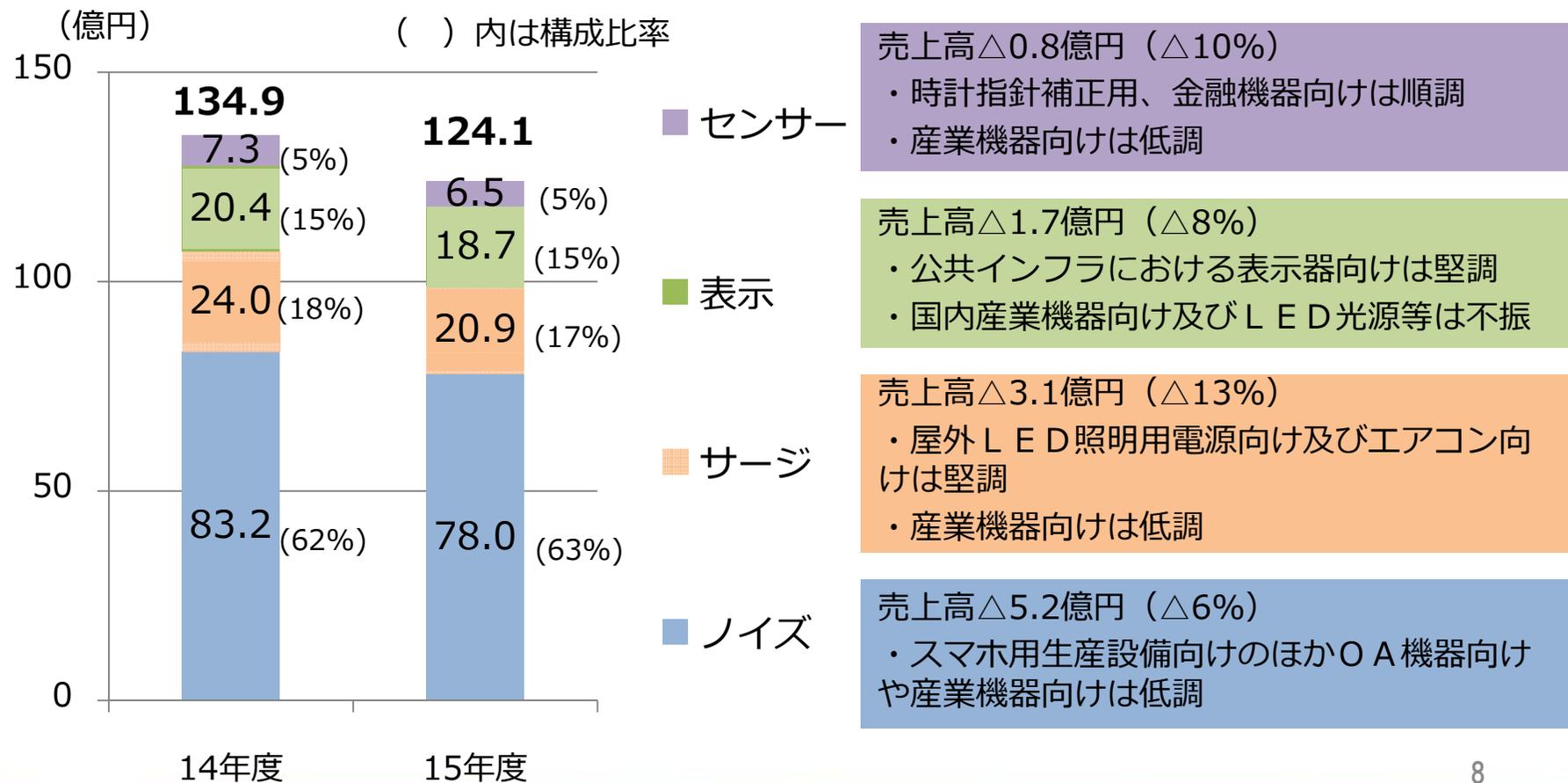
(百万円)



※親会社株主に帰属する純利益

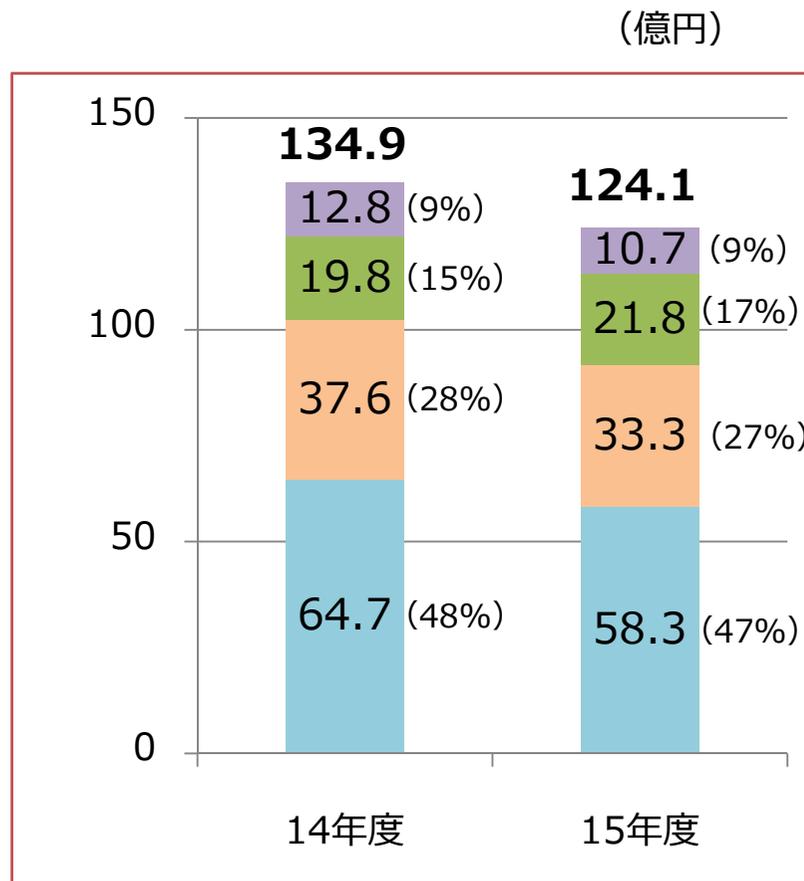
4. 売上高（セグメント別）

- ・国内：前年度好調であったスマートフォン用生産設備向け受注が大きく減少
- ・海外：東南アジア地域は堅調を維持したものの、中国での受注が減少
- ・全セグメントが減収



5. 売上高（地域別）

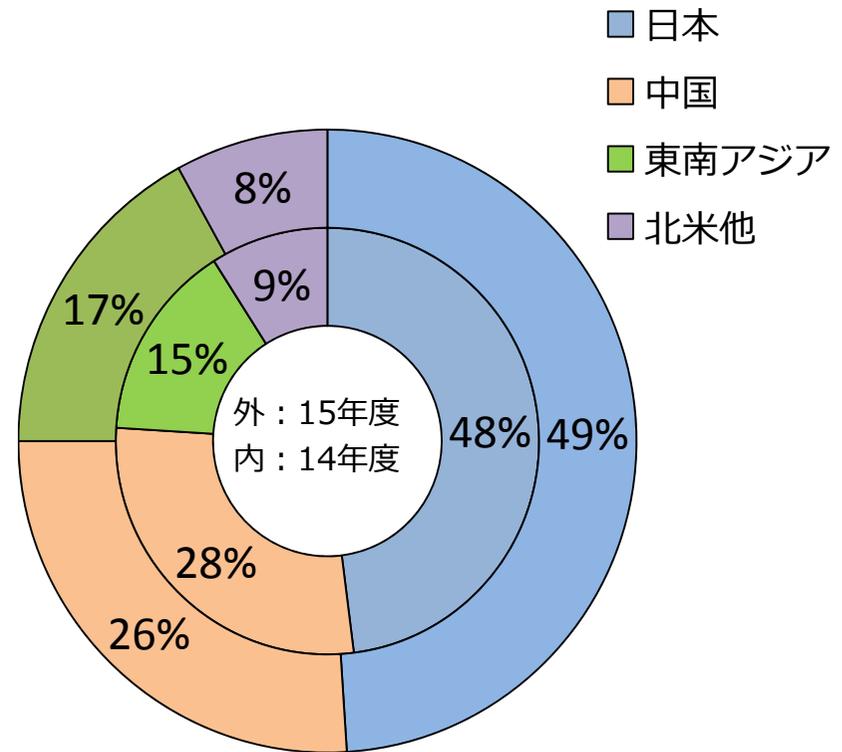
・シンガポール、タイを中心とする東南アジアは増収



1USD=
109.18円

1USD=
120.62円

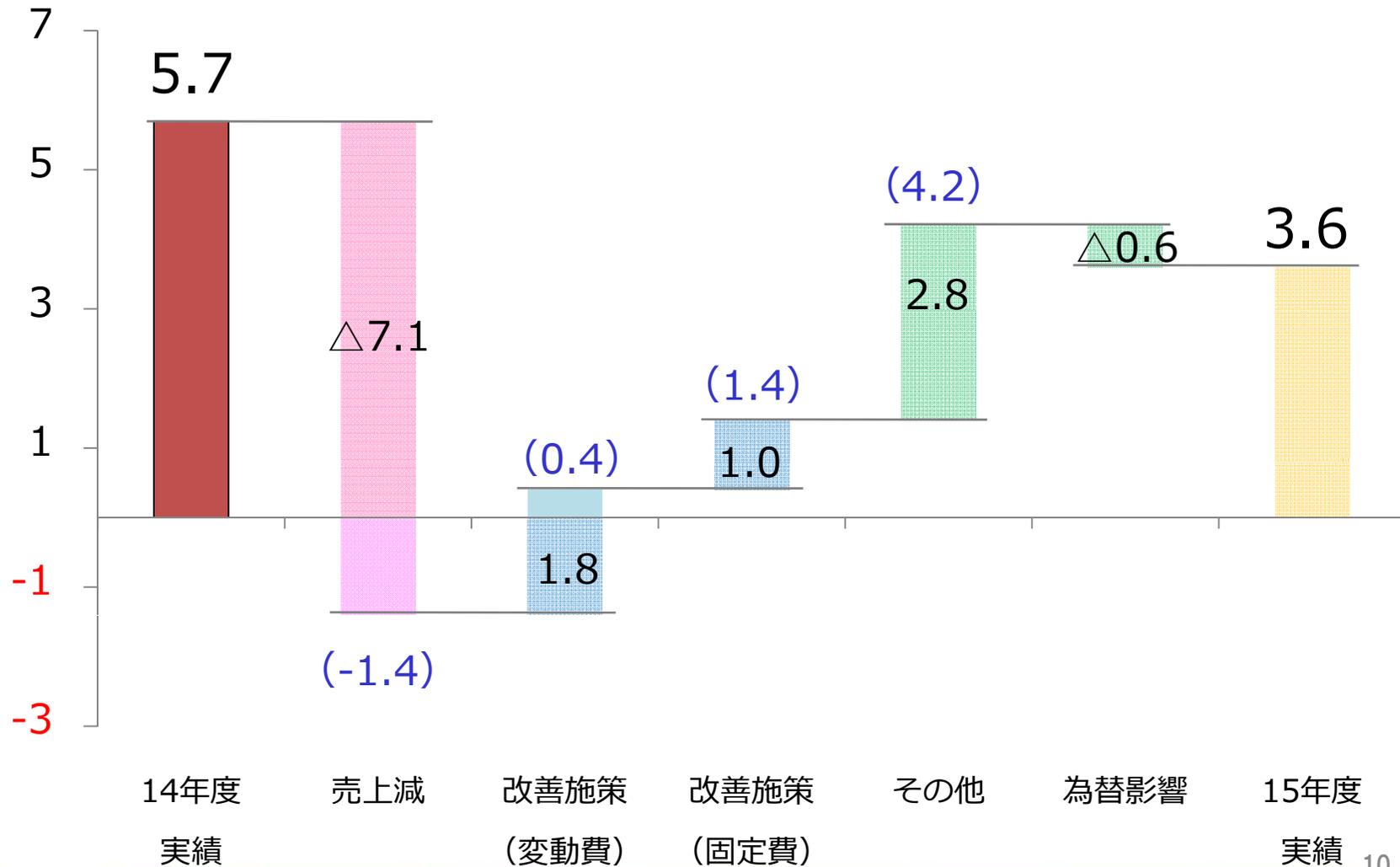
(参考) 14年度レートでの構成比率比較



6. 営業利益の増減要因

売上減影響をコスト低減で吸収できず減益

(億円) (為替影響除き実質△16億円)



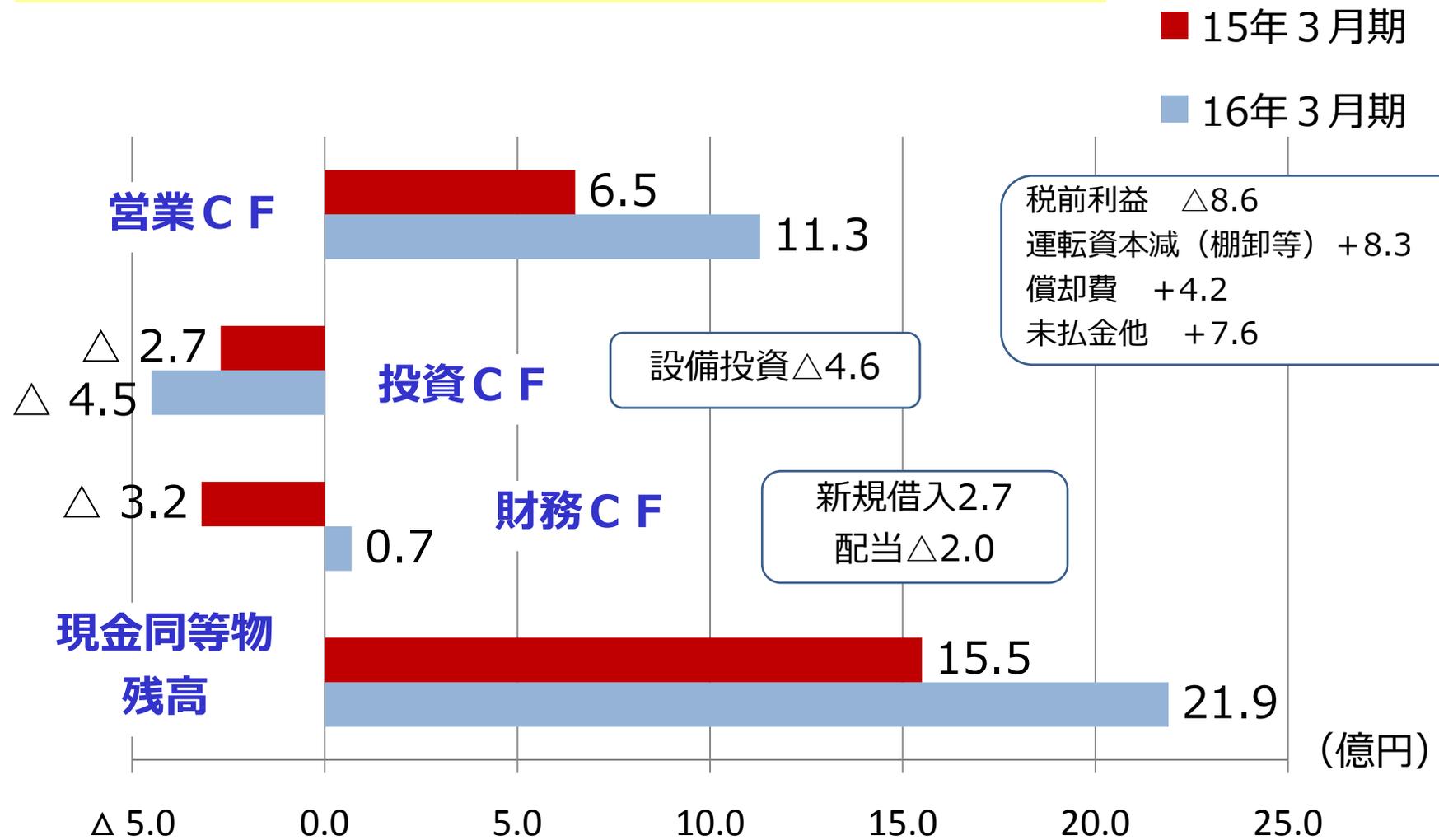
7. 貸借対照表

・総資産137億円⇒130億円（△7億円）。売上債権、棚卸、投資有価証券が減少

			14年度	15年度	前年比	(百万円)
資産 の部	流動 資産	現預金	2,554	3,191	637	売上減による
		売上債権	4,396	3,853	△543	海外工場△3.1億円
		棚卸資産	1,931	1,426	△505	
		その他	390	461	71	投資4.7億円 ・主に埼玉・中国 償却等△5.2億円
	流動資産合計		9,272	8,931	△341	
	固定 資産	有形/無形	2,256	2,199	△57	
		投資	2,164	1,859	△305	投資有価証券 △3.3億円（時価下落）
	固定資産合計		4,420	4,058	△362	
負債 の部	有利子負債	648	921	273		
	その他負債	3,029	3,482	453		
純資産の部		10,015	8,586	△1,429	当期利益△7.6億円 配当△2億円 為替影響△2.5億円等	
総資産		13,692	12,989	△703		
自己資本比率		73.1%	66.1%	△7%		

8. キャッシュフロー

・ 運転資本圧縮により営業キャッシュフローが大幅に良化



2. 2016年度 計画値

～ トップライン（売上高）の増大～

1. 業績予想値

想定為替レート：110円

年間	15年度実績	16年度計画	
売上高	12,409百万円	12,500百万円	(101%)
営業利益	359百万円	730百万円	(208%)
純利益※	△753百万円	520百万円	(-)
	(1USD=120.62円)	(1USD=110円)	

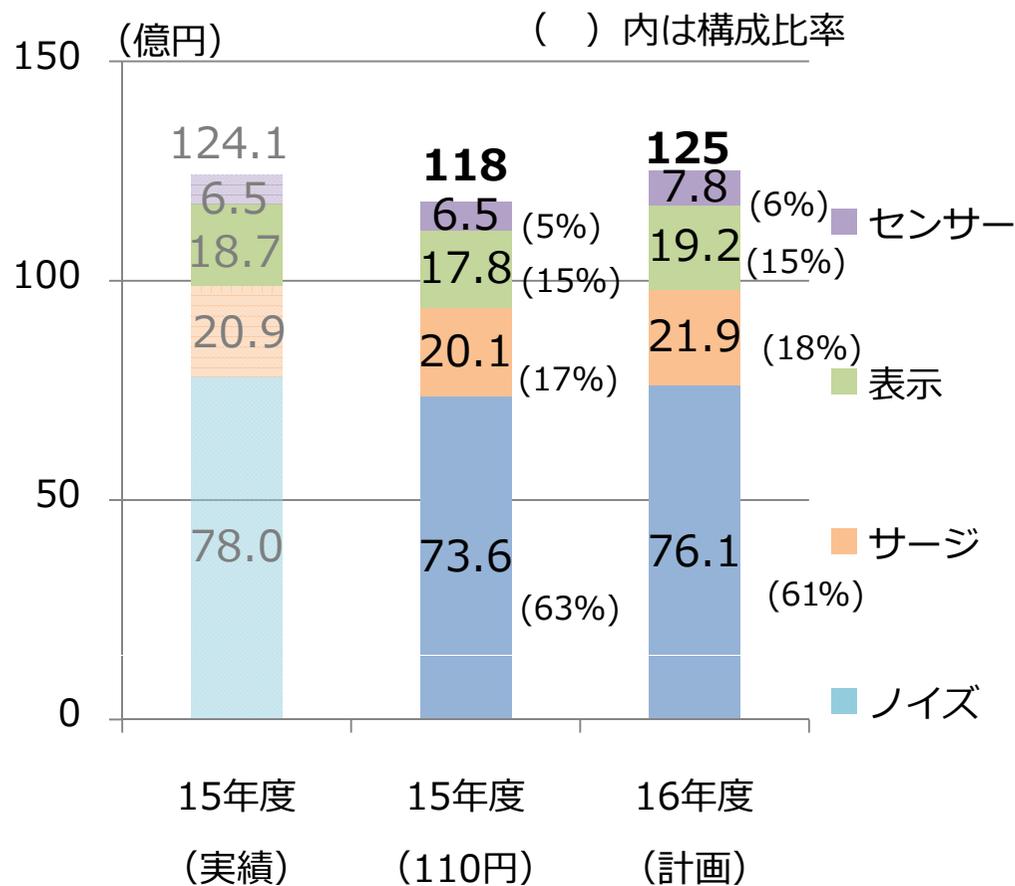
上期	15年度実績	16年度計画	
売上高	6,385百万円	6,200百万円	(99%)
営業利益	134百万円	310百万円	(230%)
純利益※	△190百万円	230百万円	(-)

※親会社株主に帰属する純利益

2. 売上高（セグメント別）

・1USD=110円の場合

2015年度実績118億円 ⇒ 2016年度計画125億円：+7億円（+6%）



売上高+1.3億円（+19%）

- ・エンコーダ：下期売上回復
- ・ATM、複写機関連：新規追加

売上高+1.4億円（+8%）

- ・国内LED新製品の本格導入
特に昇降機、ビル管理、交通インフラ関連
- ・北米医療機向けLCDの新商品への切り替え

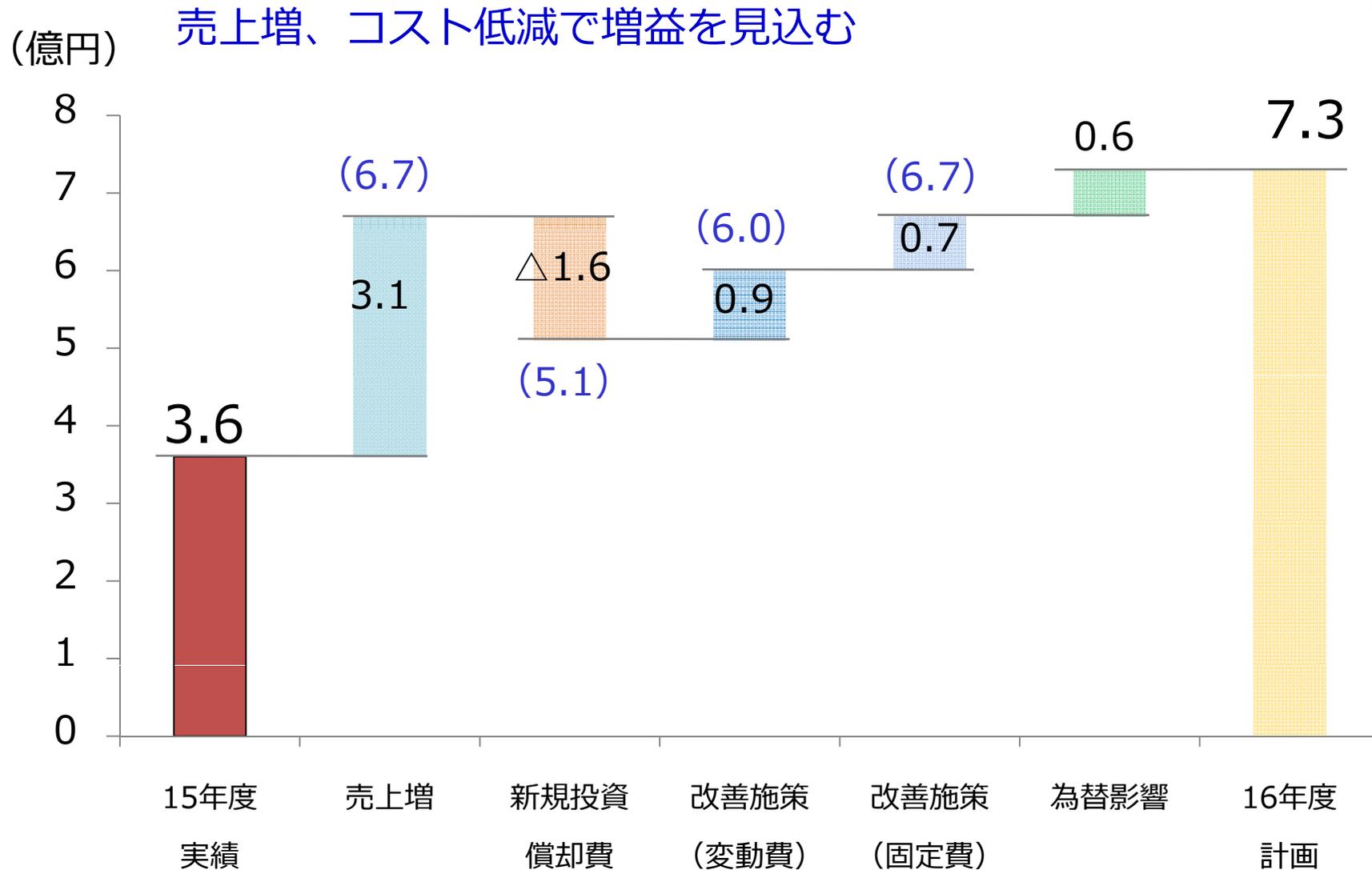
売上高+1.8億円（+9%）

- ・埼玉新工場は16年10月より稼働
- ・セラミック製品の量産開始
- ・通信機器への用途拡大

売上高+2.5億円（+3%）

- ・顧客シェアのアップ
平滑、共振用コンデンサ
⇒搬送、ワイヤレス給電、IH関連
- PFC用コンデンサ、電源コイル
⇒電源、家電関連

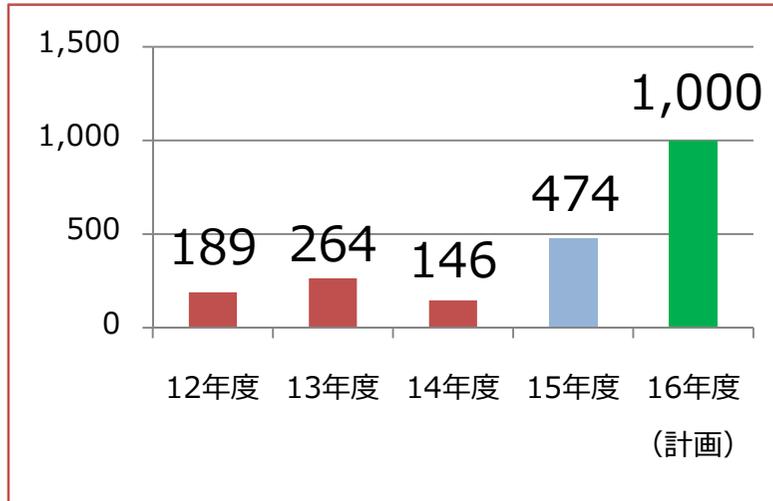
3. 営業利益の増減要因



4. 設備投資・研究開発費

設備投資 : 総額10億円

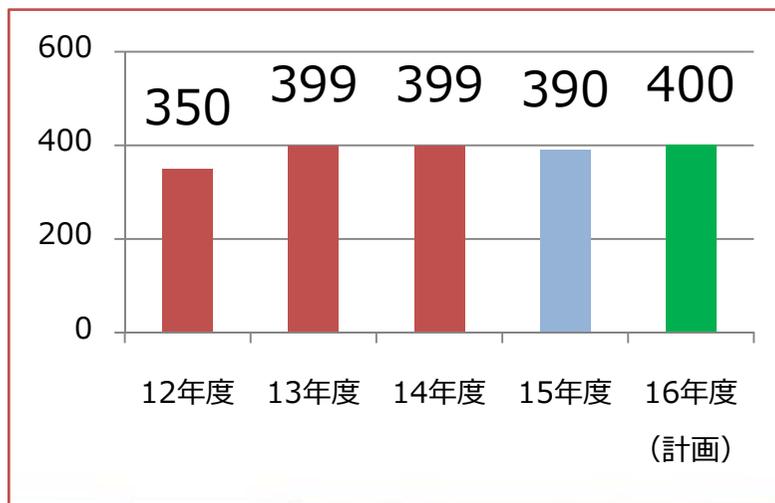
本年度連結範囲分 (100%子会社のみ)



主な投資内容

- ・ 中国工場：ロボット導入を継続、自動化ライン構築
- ・ スリランカ工場：コンデンサの生産設備拡充
- ・ 長野技術センタ：試作設備増強
- ・ 埼玉新工場の建設工事は順調 (10月稼働予定)

研究開発費 : 総額4億円



主な開発テーマ

- ・ 高信頼性 (耐高温/高湿、保安機能性) コンデンサ
- ・ 屋外用途向け (基地局、屋外LED照明等)

サージアブソーバ

5. 設備投資の内訳

(百万円)

内容		金額	国内 開発拠点	国内 生産拠点	海外 生産拠点
改善設備投資		270	30	110	130
省人化		100	—	40	60
品質改善他		70	30	30	10
設備保守		100	—	40	60
埼玉新工場		530	—	530	—
商品開発設備投資		200	130	—	70

設備投資計	1,000
--------------	--------------

6. 配当計画

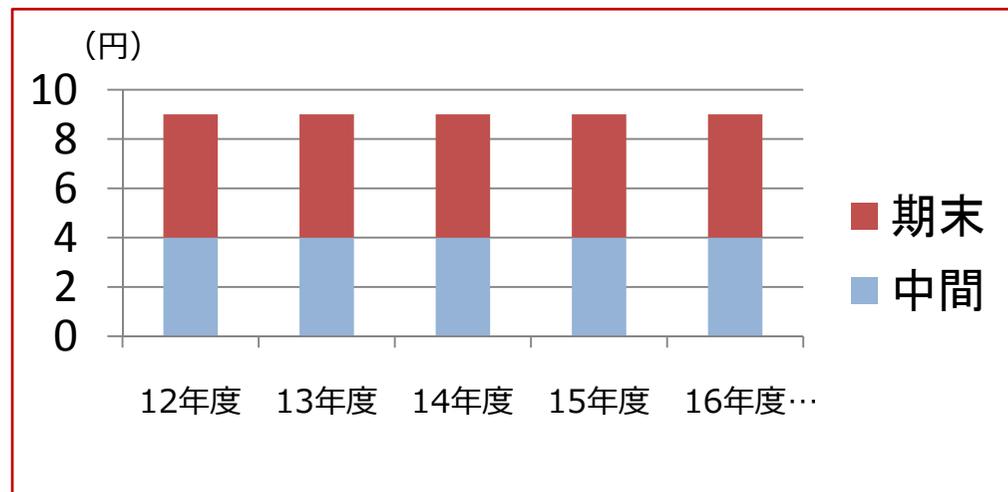
利益配分の基本方針

将来の事業展開や財務体質の強化に必要な内部留保を確保しながら、当期の利益に対する配当性向30%を基準にし、かつ安定した配当の実施の重要性を考慮しながら配当額を決定することとしております。

本年度配当計画

- 1株あたり年間9円
(中間4円)
- 配当総額201百万円
- 配当性向39%

配当金推移

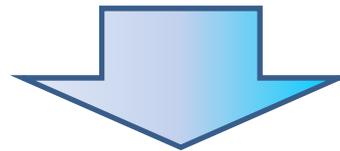


3. 今後の経営方針

1. 第9次中期経営計画 (2015-2017年度)

2015年4月

- 技術を中心とした、ものづくり職場の体制・土台づくり
- 年率成長目標5%
- 2017年度に、
 - ・ 売上高150億円
 - ・ 営業利益10億円
 - ・ ROE 7%



2016年4月

- 組織・役員体制の変更

中期経営目標及び施策の検証を行う。

2. 新組織

- (1) カンパニー制から本部制へ
- (2) 経営企画室（社長直轄）を新設

生産本部

- …技術統括
- …国内統括
- …海外統括

経営企画室

- …経営企画
- …事業企画

営業本部

- …国内統括
- …アジア統括
- …欧米統括

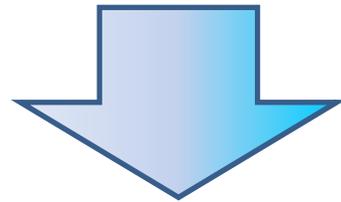
管理本部

- …人事総務
- …財務経理

3. ビジョン

「車載産業への参入」

10年後も勝ち続けるOKAYAの商品・事業・技術の創出

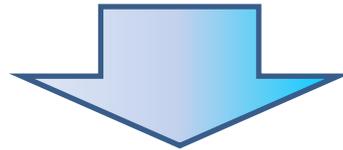


- ★高い付加価値をもつ商品・技術を確立する
- ★単純に売上規模（ボリュームゾーン）を狙うのではない

4. なぜ車載産業への参入を目指すのか

アクロスコンデンサとともに歩んだ30年

- ★徹底したコスト低減→家電及びOA市場でのシェア確立
(小型化の推進と自動化・改善によるコスト削減)



日本メーカーとの厳しい競争を勝ち残ってきた

- ・しかしながら他国との競争激化

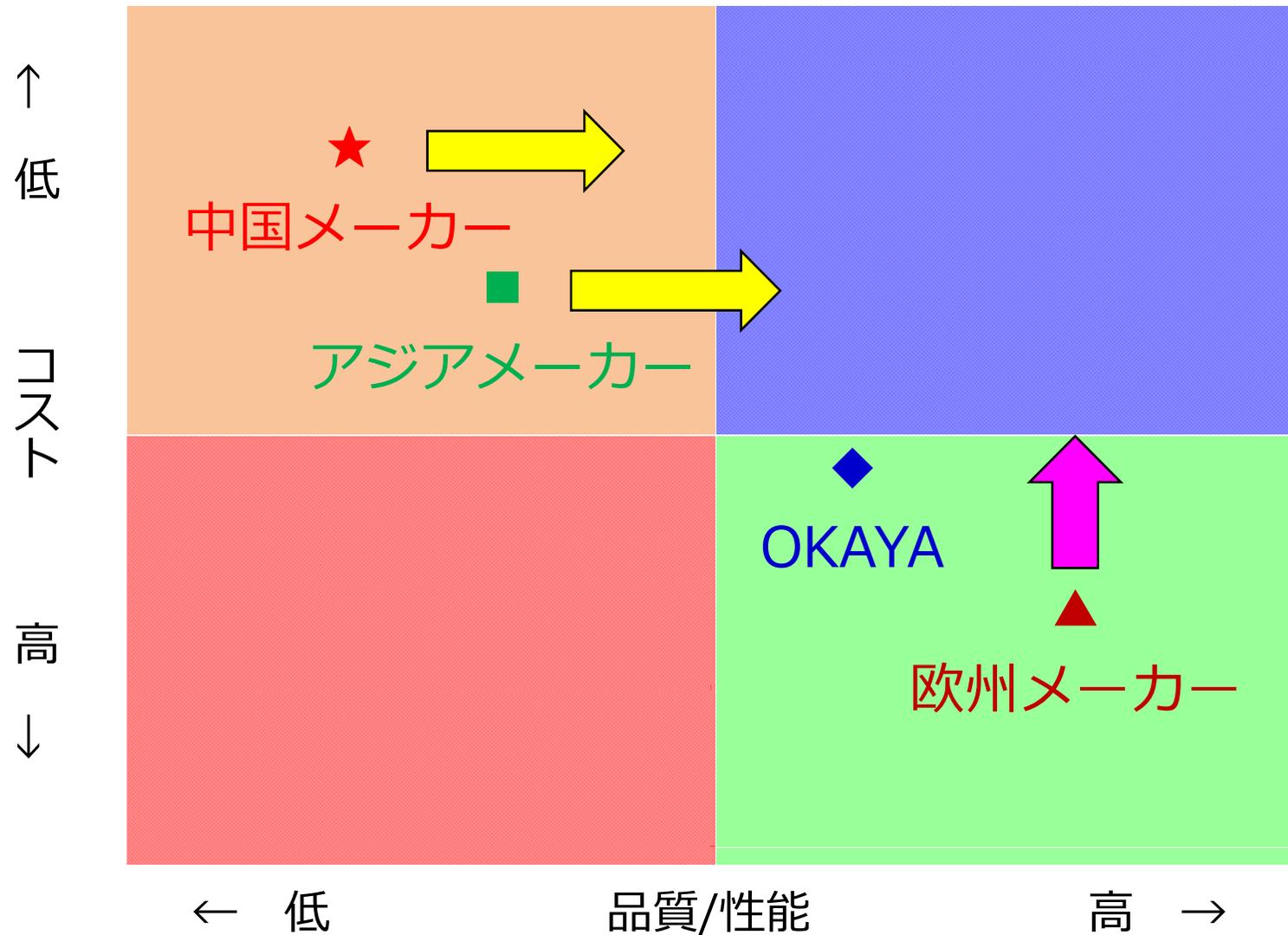
アジアメーカー：コスト優位+品質アップ

欧州メーカー：高性能+コストダウン

市場規模は減少しないが、将来の展望は見えづらい

注) アクロスコンデンサ…AC電源雑音防止用コンデンサ

アクロスコンデンサの競合状況



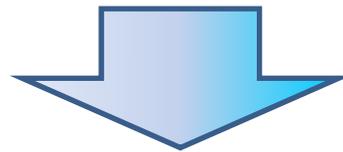
5. ビジョン実現のための施策

「事業企画部」を新設

- ・ 2014年度より「営業開発部」としてマーケティング開始
- ・ 今期より技術部門を加え、実現部隊として活動開始

「市場・商品・技術ロードマップ」 (長期戦略) の作成

- 長期に考える癖をつけて他社との差別化を実現
- 長期目標に向けて、統一した様々な施策を講じる



市場が10年後、何を望むかではなく、何を望むようになるかを見出す

6. コーポレートガバナンス

2015年11月26日、「コーポレートガバナンス基本方針」を制定

健全な事業活動を展開するにあたり、法令等を遵守し、社会規範・企業倫理に則って行動するとともに、地球環境保全、社会貢献、人権尊重等について企業の社会的責任を果たすことを基本方針とし、ステークホルダーとのより良き関係確立に努めます。

コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当社は株主に対する受託者責任及び顧客、社会、社員などのステークホルダーに対する責任並びに当社の経営理念を踏まえ、実効性あるコーポレートガバナンスの実現を構築し、当社グループの企業価値を永続的に高めるよう努めるものとする。

～「コーポレートガバナンス基本方針」第1条～



詳細は当社WEBサイトをご覧ください

連絡先

ご清聴ありがとうございました
ご支援のほどよろしくお願いいたします
連絡先窓口：経営企画室

メールアドレス：OEI_Kouhou@okayaelec.co.jp
電話番号：03-4544-7000
FAX番号：03-4544-7007

なお、本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。